

令和6（2024）年度博士前期課程（留学生選抜）問題 目次

専門試験			ページ
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	
		科学技術社会論	
		臨床哲学	1 - 3
		中国哲学	
		インド学・仏教学	
	グローバルヒストリー・ 地理学コース	東洋史学	4 - 6
		西洋史学	
		人文地理学	
	文学コース	中国文学	
		英米文学	7 - 9
		ドイツ文学	
		フランス文学	
テキスト環境論		10 - 12	
比較・対照言語学コース	比較・対照言語学		
日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学	13 - 14
		日本史学	
		考古学	
		日本文学・日本語史学	15 - 20
		基盤日本語学	21 - 24
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	25 - 25
	美学・文芸学コース	美学	
		文芸学	
	音楽学・演劇学コース	音楽学	26 - 28
		演劇学	29 - 32
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	33 - 36
		西洋美術史	

令和6(2024)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 (臨床哲学受験分野) 専門試験
[問題用紙が1枚・添付資料が2枚、全部で3枚です]

問題1 別紙資料は、先制医療に関連して「健康」を論じた文章の一部である。ここで「先制医療」とは、集団を対象とした統計的観察に基礎を置く予防医療からさらに進んで、個人の遺伝素因というリスクに対処することに特化した「個の医学」を提唱する新たな医療戦略の名称である。資料を読んで、①先制医療における「二つの健康理解」を簡単に要約した上で、②あなたの考える(あるいは私たちが考えるべき)「健康」について論じてください。

出典：安倍里美「予防医療：わたしたちが目指す「健康」とはどのようなものか」、松田毅・藤木篤・新川拓哉編『3STEP シリーズ6 応用哲学』第8章、昭和堂、2023年、117-127頁(出題部分：124-126頁)。

問題2 次の英文を読み、2段落目(I put forward here... から始まる段落)を和訳してください。

出典：Robert McRuer, *Crip Theory: Cultural Signs of Queerness and Disability*, New York University Press, 2006, p.2, 1.1-28.

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は上記のとおりです。

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

令和 6 (2024) 年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 (東洋史学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は 3 枚です。]

(1 枚目/3 枚中)

[問題用紙は 3 枚です。I~IV について、それぞれ別々の解答用紙を使用すること]

I 英語問題

次の英語の文章を、語注も参照しつつ、すべて現代日本語に訳しなさい。ただし、注番号は無視すること。

語注)

Pen-ts'ao kang-mu : 『本草綱目』

Syphilis : 梅毒

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。Adshead, S., *China in World History* (New York: St. Martin's Press, 1988), p. 228, ll. 5-26】

(2 枚目/3 枚中)

II 論述問題

〔問題 I とは別の解答用紙を用いること〕

次の 3 問から 1 問を選び、解答しなさい。解答に当たっては、いずれを選んだかを冒頭に記入すること。

1. アジア史における、「留学」と思想伝播の関係について、任意の個人・集団、歴史事象を挙げつつ、説明しなさい。
2. 西暦 3 世紀から 16 世紀までの、中央ユーラシア世界の遊牧民における文字文化の発展の歴史について説明しなさい。
3. 東アジアの都城制の特徴について、具体例を挙げつつ、述べなさい。

III 基礎事項問題

次の (a) ~ (e) の事項について知るところを、それぞれ 2 行程度で簡潔に答えなさい。

〔問題 I, II とは別の解答用紙を用いること〕

- (a) 欧陽脩 (b) 清仏戦争 (1884-85) (c) 『授時曆』
(d) 白鳥庫吉 (e) ワッハーブ派 (Wahhābiyyah)

IV 漢文問題

次の漢文は、清代の錢大昕が著した『十駕齋養新録』巻 18・詩文盜竊である。これを読んで、語注も参照しつつ、下の問いに答えなさい。なお、一部の箇所では標点を省略している。

詩文盜竊	<p>皎然詩式，著偷語偷義偷勢之例。^①三者雖巧拙攸分其為偷一也後代詩文家能免於三偷者寡矣。</p> <p>向秀注莊子，郭象竊之。郗紹著晉中興書，何法盛竊之。姚察撰漢書訓纂，後之注漢書者，隱沒名字，將為己說。^②顧寧人謂有明一代之人所著書無非盜竊語雖太過實切中隱微深痼之病。</p> <p>唐張懷慶好偷竊名士文章，時人為之語曰，活剝張昌齡，生吞郭正一。^③今之舉業文字大率生吞活剝其詞必己出者百無一二士習之弊端於作文見之矣。</p>
------	--

語注)

- 皎然 (730-99) : 唐の仏僧・詩人。 向秀 (227-72) : 竹林七賢の一人。
 郭象 (?-312) : 西晋の人、『莊子』の研究で知られる (剽窃の有無には諸説あり)。
 『晋中興書』: 紀伝体の史書。南朝宋の時期に成書，何法盛撰として伝えられる (郗紹の撰との説もあり)。
 姚察 (533-606) : 陳～隋の史家。 寧人 : 顧炎武 (1613-82) の字。
 張懷慶 (生没年不明) : 唐代の地方官僚。
 張昌齡・郭正一 : いずれも初唐の著名な文人。

- 問 1 傍線部①を現代日本語訳しなさい。
 問 2 傍線部②を現代日本語訳しなさい (なお，発言内容がどこからどこまでか，明示すること)。
 問 3 傍線部③を現代日本語訳しなさい (なお，「生吞活剝」の意味も訳し下すこと)。

令和6(2024)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題
人文学専攻(英米文学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は4枚です。]
(1枚目/4枚中)

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を読み、議論の内容を要約し、またそれに対してどのように考えるかを、あわせて800字程度の日本語で論述しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 Peter Barry, *Beginning Theory: An Introduction to Literary and Cultural Theory*,
Fourth Edition, (Manchester, 2017 (1995)). p.194, l.14 - p.196, l.11) 一部改変。

II. 以下の文章はある小説の冒頭部分である。これを読んで、一人称の語り手兼主人公の人生についてどのような物語的状況が読み取れるか、100～150語程度の英語で説明しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 Saul Bellow, *Dangling Man*. 1944. Penguin, 2007. p.9 l.1～p.11 l.24.

III. 次の英詩を読んで、設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

1. この詩全行を日本語になおしなさい。
2. この詩には、人生にたいする詩人独特の Irony が読み取れる。それについて 300 字程度の日本語で解釈しなさい。

【出典】 *MacMillan Anthologies of English Literature: The Twentieth Century (1900-present)*, ed. Neil McEwan (London: MacMillan Education, 1989), p. 77, ll. 16-23.

2枚目 / 3枚中

IV. 次の日本語を英語になおしなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 斎藤幸平『マルクス解体－プロメテウスの夢とその先』（講談社、2023年）、8ページ、6～11行

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

人文学専攻（テキスト環境論受験分野）筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目／3枚中）

I 次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典： Suter, Rebecca: *The Japanization of Modernity. Murakami Haruki between Japan and the United States*. Cambridge (Massachusetts) and London: Harvard University Press, 2008, p.63/1.6-28.

II 下の文章を読んで、翻訳された詩の工夫や改変について、原文の詩と比較しながら分析して論じなさい。
 出典は、浦瀬白雨訳『現代英米詩選』（紅玉堂、1923）、pp. 3-5 及び Arthur Symons, *Silhouettes. 2nd Edition Revised and Enlarged* (London: Leonard Smithers, 1896), p. 4 です。

海岸にて

夜、灰色の空、
 魔の如き海

降りかかる雨の静かな相圖

霧の如き彼方
 うすれ行く帆は
 天際に黒ずんだまゝ

潮が高まりつゝ

次第に滿ちひろがつて行く
 穏かな海の呻き

其れが
 疾うの言忘れられてゐた

夢のやうな歌を

私の耳に泣きさゝやく

夜が忍び足に降りてくる

黒い帆が空に消える

此處は

海のつきるところ

海岸線が永久に終る所ではあるまいか

私は考へることも

夢みることも出来ない

漠然たる

捉へどころのない

海と夜の

果てしない淋しさが

晝の希望を私に塗り潰す

相圖[あいず]： 合図のこと
 天際[てんさい]： 空のかなた
 疾うの昔[とうのむかし]： かなり前
 晝[ひる]： 晝の旧字体

ON THE BEACH.

NIGHT, a grey sky, a ghostly sea,
 The soft beginning of the rain :
 Black on the horizon, sails that wane
 Into the distance mistily.

The tide is rising, I can hear
 The soft roar broadening far along ;
 It cries and murmurs in my ear
 A sleepy old forgotten song.

Softly the stealthy night descends,
 The black sails fade into the sky :
 Is this not, where the sea-line ends,
 The shore-line of infinity ?

I cannot think or dream : the grey
 Unending waste of sea and night,
 Dull, impotently infinite,
 Blots out the very hope of day.

Ⅲ 次の文は中野重治の小説「広重」（初出『新潮』一九五四年七月号）の一部です。これを読み、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典 中野重治「広重」（『中野重治全集』筑摩書房、一九七七年、二八五頁二行目～二八八頁三行目）

問一 傍線部「風景は広重の版画のようではない。それは油絵のような具合のものだ」とはどういうことが、本文を踏まえて説明しなさい。

問二 この文章で「私」は広重の版画を例に表現と「リアル」の問題を述べているが、あなたが研究しようとしている分野における「リアリズム」とその問題点について具体例を挙げて論じなさい。

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

日本学専攻（現代日本学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

（1枚目/2枚中）

〔I〕次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で説明しなさい。

- (1) 懐徳堂 (2) 新国学 (3) 『思想の科学』 (4) 吉田ドクトリン (5) エネルギー革命
(6) 民衆史 (7) 『性の政治学』 (*Sexual Politics*, 1970) (8) 「べてるの家」
(9) 河野談話 (10) 昭和館 (11) 異性愛主義 (12) 近代家族

〔II〕次の4問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 現代日本の思想史上における人物を一人以上取り上げ、その位置づけについて論じなさい。ただし、あなたがその人物が重要であると考えられる理由がわかるように論じること。
- (2) 自己を研究対象とすることについて、具体的な方法論を挙げながらその意義と問題点、課題について論じなさい。
- (3) 近現代日本における男性（性）の表象について一つ例を挙げ、ジェンダーの観点から論じなさい。
- (4) オーラルヒストリーと表現活動との関連について、日本の事例を挙げながら論じなさい。

(2枚目/2枚中)

〔Ⅲ〕次の文章は、Paul E. Dunscomb, *Japan Since 1945*, Association for Asian Studies, INC., 2014の一節(41頁の1~27行目)である。これを読んで、以下の問いに日本語で答えなさい。

- 1 この文章の前半の段落で、著者は「明治」「大正」「昭和」をそれぞれどのように特徴づけているか、簡潔に説明しなさい。
- 2 この文章の後半の段落で、著者は「平成」の特徴を3つ挙げている。どのような特徴が挙げられているか、簡潔に説明しなさい。
- 3 この文章の末尾で言及されている「失われた10年」は、現在では、その後の時期も含めて「失われた30年」と表現されることもある。このような捉え方において問題化されているのは現代日本のどのような状況であるかを整理したうえで、あなたがとくに重要である点について論じなさい。

□ 次の i・ii の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

i

世の中に①長恨歌といふ文を物語に書いてある所あんなりと聞くに、いみじくゆかしけれど、えいひよらぬに、さるべき頼りをたづねて、七月七日、いひやる。

A 契りけむ昔の今日のゆかしさに天の河浪うち出でつるかな返し、

たち出づる天の河辺のゆかしさに常はゆゆしきことも忘れぬ

その十三日の夜、月いみじく隈なく明かき、みな人も寝たる夜中ばかりに、縁に出で居て、姉なる人、空をつくづくとながめて、「ただ今、行方なく飛び失せなば、いかが思ふべき」と問ふに、なま恐ろしと思へる気色を見て、こと事にいひなして笑ひなどして聞けば、傍らなる所に前駆をふ車止まりて「荻の葉、荻の葉」と呼ばすれど、答へざなり。呼びわづらひて、笛をいとをかしく吹きすまして過ぎぬなり。

B 笛の音のただ秋風と聞こゆるになど荻の葉のそよと答へぬといひたれば、げにとて

荻の葉の答ふるまでも吹き寄らでただに過ぎぬる笛の音ぞうきかやうに明るるまでながめ明かいて、夜明けてぞみな人寝ぬる。

〔更級日記〕

ii

臨別殷勤重寄詞

詞中有誓両心知

七月七日長生殿

夜半無人私語時

在天願作比翼鳥

在地願為連理枝

〔長恨歌〕

問一 傍線部①について知るところを述べなさい。

問二 ii の傍線部を現代日本語訳しなさい。

問三 A の和歌について、ii の文章を踏まえて現代日本語訳しなさい。なお「うち出でつるかな」の掛詞に注意すること。

問四 B の和歌の内容を、この和歌が詠まれた状況を踏まえて詳しく説明しなさい。その際、この歌の技巧についてもできる限り説明すること。また、「荻の葉」が何を暗示するかを明確にすること。

〔三〕 以下に、(A)『落窪物語』(『落窪物語大成』を底本として校訂)、(B)鴻巣盛広訳『口訳落窪物語』(大正元年、博文館)の対応する箇所を示す。『口訳落窪物語』はその凡例によれば、「一々語を遂うて訳して猥りに省略しなかつた」という方針により、「落窪物語を口語に翻訳したもの」であるという。

この資料組から、「古代語から近代語にかけての文法の変化」を反映する箇所を見出し、その変化について論じなさい。その際、(C)に示す文法の範疇について、少なくとも二つは触れること。(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

(A)

もて参りたる程成の時も過ぎぬべし。ひの下に見給ひて、君もいとあはれとおもほしたり。帯刀が許なる文を見給て、いみじうくねりためるは、げに今宵は三日の夜なりけるを、物のはじめにもあしう思ふらん、といといとほし。雨はいやまさりにまされば、思ひ侘びて、頬杖をつきて、暫しより居給へり。帯刀、わりなしと思へり。うち歎きて立てば、少将「しばし居たれ、いかにぞや、いきやせんとする」「かちからまかりていひ慰め侍らん」と申せば、君「さらば我も行かん」とのたまふ、嬉しと思ひて「いとよう侍りなん」と申せば「おほがき一つ設けよ、衣ぬぎて来ん」とて入り給ひぬ。帯刀かさもとめにありく。

阿漕、かく出でたち給ふもしらで、いといみじと歎く。かゝるまゝに、「あいぎやうなの雨や」と腹立てば、君はづかしけれど「などかくはいふぞ」との給へば「猶よろしうふれかし。折にくゝも侍るかな」といへば、「降りぞ勝れる」と、忍びやかにいはれて、いかに思ふらんと、はづかしうてそひ臥し給へり。

(B)

使が此返書を持つて帰つて来たのは八時も過ぎてゐた頃だつたらう。灯火の下で是を見て少将は可愛さうになつた。帯刀の所へ来た阿漕の返事も見て、甚くひねくれたことを言つてよこしたものだ。何しろ今夜は三日目の晩だのに行かないから、初めから縁起が悪いと思ふだらうと考へて気の毒になつた。雨は益大降りとなるので困り切つて頬杖をついて暫く倚りかゝつてゐた。帯刀は仕様が無いと思つてゐた。ため息しながら座を立つと、少将、

『歩いて行つて慰めてやりませう。』

『そんなら、私も往かう。』

帯刀も嬉しくなつて、

『それは至極宜ろしう御座いませう。』

と言ふと、少将、

『傘を一つ用意しろ、着物を着て来よう。』

と言つて奥に入つた。帯刀は傘を見付けに往つた。

(三枚目／六枚中)

阿漕は少将等が這麼風で出掛けたのも知らないで非常に歎いてゐた。さうして、『憎らしい雨だよ。』

と腹を立てると、姫は恥しくはあるが、

『何故其麼ことを言ふの、』

と問ふと、

『降るにしても普通に降ればようムいますのに。生憎な甚い雨で御座いますね。』
と言ふ。

(C)

格 テンス・アスペクト モダリティ 条件表現

㊦ 次の文章は、平林たい子「鬼子母神」の一節です。この文章を読み、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、横書きにすること)
《引用は『こういう女 施療室にて』(講談社、一九九六年) 一六九～一七一頁、一七三～一七五頁。なお、引用にあたって一部省略している》

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

問一 傍線部①「圭子は自分のヨシ子に対する目があまりに醒めたものである」とは、どういうことか。本文全体の内容を踏まえて、圭子の視線がヨシ子の姿をどのように描き出しているのかを明らかにし、その視線のあり方を説明しなさい。

問二 傍線部②「圭子の胸の中にはただ一つの器しか用意がない」とは、どういうことか。本文全体の内容を踏まえて、説明しなさい。

問三 平林たい子という作家について、文学史的な位置やその作品世界について、あなたが知っていることを説明しなさい。

問四 もし、あなたがこの小説を論じるとしたら、どのように論じるだろうか。小説テキスト内の分析、引用や翻案などの他作品との相互関係の考察や比較、あなた自身の問題関心と交錯させての考察など、この小説を論じる場合に、あなたが着想するアイデアや方向性を記しなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、横書きにすること。不足の場合は、追加用紙を申し出ること)

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
日本学専攻（基盤日本語学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は4枚です。]

（1枚目/4枚中）

[1] 次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。答えは横書きで書きなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

出典：国広哲弥（1997）『理想の国語辞典』大修館書店（126～131頁の表まで）

(2枚目/4枚中)

出典：国広哲弥（1997）『理想の国語辞典』大修館書店（126～131 頁の表まで）

- 問 1 傍線部（1）「特に外国人学習者のためにぜひ必要である」のはなぜか、その理由を本文に即して答えなさい。
- 問 2 傍線部（2）「外国人使用者を考慮に入れるならば、この種の用例がぜひ必要となる」のはなぜか、その理由を本文に即して答えなさい。
- 問 3 末尾の表の（ア）～（エ）の欄に入る適切な文言を書きなさい。
- 問 4 外国人日本語学習者にとっての「理想の日本語辞典」とはどのようなものか、自由に論じなさい。

(4枚目/4枚中)

[2] 次の14項目のなかから5項目を選び、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

- (1) 言語記号の恣意性
- (2) 口音と鼻音
- (3) 探索的データ解析
- (4) 国立国語研究所
- (5) 接辞
- (6) コピュラ文
- (7) ダイクシス
- (8) 無声化
- (9) 母語
- (10) 複言語主義
- (11) 社会方言
- (12) 言語獲得のU字型発達
- (13) 会話の含意
- (14) 会話の優先組織(preference organization)

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つ挙げ、それぞれについて、各項目5行から10行程度で説明しなさい。

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
芸術学専攻（アート・メディア論受験分野）筆記試験

〔問題用紙は1枚です。〕

（1枚目/1枚中）

問1 次に挙げる8つの用語もしくは固有名詞のなかから5つを選び、それぞれを5行程度の日本語で説明しなさい。

- (1) アンドレ・バザン (2) 古典的ハリウッド映画 (3) マリー・シェーファー (4) 水琴窟
(5) ICOMOS (6) 伊東豊雄 (7) クルト・ヨース (8) ブレイキン

問2 次に挙げる4つの設問A～Dの内から2つを選び、日本語で解答しなさい。

A 日本の神社建築では、一定年限ごとに「式年造替」が行われ、社殿の一部もしくは全部が建て替えられる。こうした伝統を、西欧における文化財保護の理念と比較した場合、どのような問題点が生じるとあなたは考えますか。またそうした問題点を解消・調停するためには、どのような提案が考えられますか。

B ローラ・マルヴィによる「視覚的快楽と物語映画」での議論を援用しながら、具体的な映画作品を考察しなさい。

C 近年、聞き取り調査やオーラルヒストリーのために、その対象者の口述を記録したり録音したりするだけでなく、同時にその対象者の姿を録画することがありますが、このように口述記録と合わせて映像記録も用いることの良い点・悪い点・注意すべき点について、事例を交えながらあなたの考えを述べなさい。

D ダンスが広告一般において担うメッセージの一つに、「ウェルビーイング」があります。「ウェルビーイング」についてあなたの知識と理解を説明し、ダンスがいかに「ウェルビーイング」のメッセンジャーとなり得るか、考察しなさい。

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

芸術学専攻（音楽学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目/3枚中）

問1 次の文章を読んで、ここで書かれているような音楽の作り方について、音楽学的にどのように考え、それをどのように展開することができるか、具体例を挙げながら論じなさい。[配点30点]（出典：近藤讓先生お茶の水女子大学最終講義録「私の作曲について」『お茶の水音楽論集』第15号（2013年）、p.2, l.25-p.3, l.6.）

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

(2枚目/3枚中)

問2 次の英文を日本語に訳しなさい。[配点30点] (出典: Edgar W. Pope, "Imported others: American influences and exoticism in Japanese interwar popular music", *Inter-Asia Cultural Studies*, 13:4, 2012, p.508, l.17-33)

問題文は著者の著作権に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

(3枚目/3枚中)

問3 問1および問2で示した文章のどちらか、あるいは両方と関連させて、あなたの研究テーマについて論じなさい。[配点40点]

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
芸術学専攻（演劇学受験分野）筆記試験
〔問題用紙は4枚です。〕
（1枚目/4枚中）

問1 以下の6つの語すべてについて、それぞれ知るところを説明しなさい。字数自由。

- (1) Richard Schechner (2) 『ヘッダ・ガブラー』 (3) 多言語演劇
(4) 金春禅竹 (5) 花道 (6) 太棹三味線

問2 選択問題です。近現代演劇（西洋演劇）研究志望者は設問1、伝統演劇（芸能史）研究志望者は設問2を選んで解答してください。

設問1） 問題用紙2枚目は、Erica Fischer-Lichte, ‘Interculturalism in Contemporary Theatre,’ Patrice Pavis (ed.), *The Intercultural Performance Reader*, Routledge, 1996, p.27, l.19-p.28, l.21 です。これを読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

- (1) 英文 (A) の部分では、およそ1970年代以降に活発になる演劇のある傾向について概観しています。その傾向はどのようなものか、この部分に記載されている、演出家の名前を適宜使いながら、説明しなさい。
(2) 下線部 (B) はインドの伝統演劇の一つのジャンルです。このジャンルの演劇がどのように使われたのか、それがどのような意味を持つのか、この文意に則して説明しなさい。
(3) 下線部 (C) はロシアの劇作家です。この劇作家の作品を一つ取り上げ、そのあらすじや劇的な特質について説明しなさい。
(4) 英文 (D) の部分では、3つの疑問文で、この文章で説明した演劇の傾向について、その意義を自問しています。この3つの疑問文のなかから一つ選び、それを日本語に訳した上で、その疑問文に対する自分自身の考え方を記しなさい。

設問2） 問題用紙3～4枚目は、伊藤正義『謡曲入門』（講談社学術文庫、2011年）より、「松虫—花鳥遊樂の瓊筵—」（295-300頁）の全文です。これを読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

- (1) 著者は、能《松虫》の作者は誰と考えているのか。また、その根拠は何と述べているのか、文章に則して、説明しなさい。
(2) 著者は、能《松虫》の主題は何だと述べているのか、また、その根拠は何と述べているのか、文章に則して、説明しなさい。

問3 戯曲の構成について、過去にどのような議論があったか。その議論にはどのような背景があり、現代において適応される意義があるとすれば、どのような意義があるだろうか。任意の具体例をあげながら、自由に論じなさい。

(2枚目/4枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Erica Fischer-Lichte, 'Interculturalism in Contemporary Theatre,' Patrice Pavis (ed.), *The Intercultural Performance Reader*, Routledge, 1996, p.27, 1.19-p.28, 1.21

(3枚目/4枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

伊藤正義『謡曲入門』（講談社学術文庫、二〇一一年）より、「松虫—花鳥遊楽の瓊筵—」（二九五-三〇〇頁）

(4枚目/4枚中)

伊藤正義『謡曲入門』（講談社学術文庫、二〇二一年）より、「松虫―花鳥遊樂の瓊筵―」
(二九五―三〇〇頁)

令和6(2024)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題

芸術学専攻(日本東洋美術史受験分野)筆記試験

[問題用紙は4枚です。]

*以下のすべての問について、日本語で解答すること。

問1 以下の用語のうち4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

[配点20点]

- 1) 《サン・ピエトロのピエタ》
- 2) ウィリアム・ホルマン・ハント
- 3) 歴史主義建築
- 4) 仏塔(ストゥーパ)
- 5) 料紙装飾
- 6) 長谷川等伯

問2 別紙1の問題に答えなさい。[配点28点]

問3 別紙2は「三寶絵」(『名古屋市博物館蔵三寶絵 写真版』名古屋市博物館、1989年)の一部です。「 」内を翻刻しなさい。[配点12点]

問4 別紙3は「十一面観音像」(平安時代12世紀、一幅、奈良国立博物館蔵)です。図様を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの作品の魅力について述べなさい。[配点40点]

白井華陽（？）一八三六『画乗要略』所載の次の文について設問に答えなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

語注 酔月、蕪村、應舉：いずれも画家。順に大西酔月、与謝蕪村、円山応挙。

束脩：生徒が師匠に入門する際に持参する謝礼の金品。ここでは入門の礼をとったということ。

莫逆友：親密な友。

百采之圖：百菜図、すなわち種々の野菜や果実を描いた作品。

2 枚目/4 枚中

設問一 冒頭から五行目「至其山水最奇」までを書き下し文にしなさい。

一行目の「嘗」にルビを振ること。

設問二 右記で「月溪」として伝が立てられている画家の、現在における一般的な呼称を答えなさい。

設問三 六行目「百采之圖」はどのような描法の作品か。本文を踏まえ簡潔に説明しなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

右の文中に記される菩薩等については、以下の注を参照のこと。

雪山：…無常偈の後半を聞くために捨身したという童子 最勝仙人：…命を犠牲にして仏法を求めたという優れた仙人

常啼：…般若波羅蜜を求めて身命を惜しまず旅をしたとされる菩薩 善財：…多くの菩薩たちを訪問し求法したとされる童子

薬王：…焼身供養したとされる菩薩 普明：…首を切られるという約束を守った正直な王

別紙の図は

著作権等に配慮し掲載を省略します